

# 新宿駅東口で 街頭相談

# 「死も考えた」「4時間半歩いて相談に」 寒風のなか途切れぬ相談者



2月4日、新宿駅東口で

住まい・仕事の確保、生活再建へ  
力をあわせましょう

2月4日に都議団と新宿区議団が新宿駅東口で、14日に千代田地区委員会と労働者後援会が秋葉原駅前でおこなった街頭相談に参加しました。政治災害によって仕事も住まいも奪われた1人ひとりに寄り添い解決をはかること、政治の力によって事態を開拓することの緊急性を痛感しました。新宿駅東口での相談の状況を報告します。



2月15日、秋葉原駅前。左は福山和夫区議

## 「派遣切り」撤回させる道を開いた志位質問

業界団体の試算で、3月末までに製造業だけで40万人が職を失うといわれています。これをくい止めることは、緊急の課題です。派遣法では、3年を超えて派遣労働者を働かせることは違法であり、直接雇用を申し出る義務が生じます。日本共産党の志位和夫委員長は2月4日の衆院予算委員会で、製造業の大企業で偽装請負と違法クーリングによって3年の期限を超えて派遣が続けられている実態を示して追及。偽装請負も違法クーリングも派遣期間に通算されるこ

とを政府の答弁として認めさせ、大企業に「派遣切り」をやめさせ、直接雇用義務を果たさせるよう迫りました。クーリング：3カ月と1日以上派遣を受け入れない期間を「クーリング期間」といいます。この空白期間があれば継続した派遣とみなさないと厚労省の指針があり、大企業がこれを悪用し、みせかけだけの「クーリング期間」をはさむことで派遣期間制限を逃れ、長期に派遣をくり返すやり方が問題になっており、違法です。

新宿駅東口で、都議団、区議団のみなさん、医師の谷川智行さん（衆院比例東京ブロック）などと午後1時前から始めた街頭相談。用意したいすはたちまち埋まり、終了予定時間の3時を過ぎて途切れませんでした。18歳から65歳の方まで計20人が相談に訪れました。いずれも本当に深刻な内容でした。その一部を紹介します。一時保護施設入所で、ほっとした顔に群馬県で12月半ばに派遣契約を打ち切られた44歳の男性は、3日ほど前に上京。公園とネットカフェで過ごし、所持金は千円でした。新宿駅東口で夕方暮らしていたところ、ピラを見て相談に。雨宮たけひこ新宿区議などと区の福祉事務所へ行き、一時保護施設に入る事ができました。「とりあえず落ち着けるので仕事を探し、介護の資格もとりたい」とほっとした顔に。「一時は死んじゃおうかと考えたこともある。派遣の自由化はやめるのが一番いい」と話していました。

「住み込みで働きたい」西陣織の技術をもち、飲食店で働いた後に路上生活になった50歳の男性は、一度自立支援センターに入りましたが自立に失敗し、緊急一時保護センターの期限が切れて出てきたところで、街頭相談に出会いました。「住み込みで働きたい」という希望でした。私も付き添って福祉事務所へ行き、1週間程度宿泊できる場所を確保でき、就職に挑戦することになりました。「共産党なら助けてくれると思って」図書館で読んだ「しんぶん赤旗」で街頭相談があることを知り、1週間心待ちにして、「共産党なら助けてくれると思つて、江戸川区から必死に4時間半歩いてきた」という45歳の男性も。建設現場の仕事がなくなり、会社の寮を出た後、職を探しましたが、お金が尽きて路上生活になりました。この方は生活保護の受給が決まり、とりあえず民間の宿泊所で暮らすことになりました。

緊急宿泊施設の確保は急務 この日新宿区の福祉事務所と一緒にいった方のうち、すぐには宿泊施設に入れない方もいました。区の担当の方は、今日の事態のもとで「宿泊施設はまったく足りていない」と言います。都営住宅の空き室の活用をはじめ、宿泊施設の確保は急務です。そして、これ以上の雇用破壊を許さない、労働者派遣法の抜本改正など、国政でのたたかいに力を尽くしたいと思



日本共産党衆議院東京1区  
国政対策委員長・若者相談室長

# 富田なおき

事務所ニュース

16 2009.2.22

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25  
TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912  
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

——毎日帰りが遅いと思いますが、お子さんとはどのように過ごしていますか？

早く帰れる日は、子どもといっしょにお風呂に入ります。それから、電車の雑誌を子どもといっしょに見て、夢中になっています。電車のことを子どもに教えて、「父と子の世界」をつくっているようです。

——朝早く宣伝に出かける日もありますが、食事は？



おにぎりを持って出たり、外で食べたりです。私はまだ寝ています。早朝の宣伝がない時や休みの日は、朝食をつくってくれます。卵焼きがとっても上手です。おばあちゃん（僚子さんの母）に教わって、家事も上達しました。

——普段はお子さんどんなふうにごくしていますか？

——朝早く宣伝に出かける日もありますが、食事は？

おにぎりを持って出たり、外で食べたりです。私はまだ寝ています。早朝の宣伝がない時や休みの日は、朝食をつくってくれます。卵焼きがとっても上手です。おばあちゃん（僚子さんの母）に教わって、家事も上達しました。

——普段はお子さんどんなふうにごくしていますか？

——富田さんについて何か新しい発見はありますか？

先日なんか、久々の休みに、九州の方へ行くブルートレインが廃止になるとかで、わざわざ乗りに行きました。目的地に着くために乗るのではなく、「乗るため」に乗りに出かけて行く気持ち、私には理解できません。民営化でJRの路線廃止を嘆いています。

——富田さんに期待することは？

子どもがもう少し大きくなつてからですが、休みの日にいっしょに出かけるとか、子どもとふれあう時間をもつとれるようになれば、と思っています。

ありがとうございました。

2歳の男の子の父親として子育て真っ最中の富田なおきさん。家庭ではどんなお父さんでしょうか。妻の僚子さんに聞いてみました。

子育て真っ最中。どんなお父さん？——妻・僚子さんに聞きました

おにぎりを持って出たり、外で食べたりです。私はまだ寝ています。早朝の宣伝がない時や休みの日は、朝食をつくってくれます。卵焼きがとっても上手です。おばあちゃん（僚子さんの母）に教わって、家事も上達しました。

——富田さんについて何か新しい発見はありますか？

先日なんか、久々の休みに、九州の方へ行くブルートレインが廃止になるとかで、わざわざ乗りに行きました。目的地に着くために乗るのではなく、「乗るため」に乗りに出かけて行く気持ち、私には理解できません。民営化でJRの路線廃止を嘆いています。

——富田さんに期待することは？

子どもがもう少し大きくなつてからですが、休みの日にいっしょに出かけるとか、子どもとふれあう時間をもつとれるようになれば、と思っています。

ありがとうございました。



1月26日、笠井亮衆院議員、おおつか未来さん（港区雇用・福祉の相談室長）、全都の議員のみなさんとともに、学童保育の問題について厚労省から聞き取りをおこなっていました。

厚労省は、大規模学童クラブを解消するために、71人以上の学童保育への補助を2010年度から

廃止し、分割を促すとしていきます。これに対して参加者からは、施設整備費や運営費の増額の要望が強く出されました。

また、「全児童対策事業」を理由に学童保育を廃止する自治体が増えており、全廃した渋谷区の参加者は「子どもたちが公園にあふれている」と実情を報告しました。

要求山積

学童保育について 厚労省から聞き取り



港区白金・南麻布後援会の「新春のつどい」で。左は、都政へ挑戦するおおつか未来さん（2月14日）



新宿区牛込北地域後援会の「新春のつどい」。故郷の民謡・花笠音頭を一緒に踊りました（2月10日）

学生の未来奪う 内定取り消しの深刻な実態 都内の大学の就職課に話を聞きました

文部科学省の調査だけでも、今春の採用内定を企業から取り消された学生（大学、短大、高专、専修学校）が千七百七十一人にのぼります（1月5日時点）。内定取り消しは解雇にあたり、判例でも「不況による」内定取り消しは違法です。

2月6日、大山とも子都議と、都内の大学の就職課で、内定取り消しの実態について話を聞きました。以下、就職課の方のお話です。

「昨年の秋口から内定取り消しが始まり、取り消される学生は増えてきています。電話1本で取り消しを告げる企業もあります。また、資金10億円以上で、取り消している企業もいくつかあります。こちらから連絡すると、温度差を感じます。取り消された学生は、大変な不安です。」

どうしていいのかわからず、涙を流す学生もいます。幸い求人はまだきているので、気持ちを落ち着かせていっしょに探したりします。」

その後新たに内定を受けた学生もいるそうです。また、4月以降も就職活動を続ける学生のために、卒業単位を満たしている場合は学費を4分の1にする「卒業延期制度」をつくっているそうです。就職課の方は、「企業の採用時期が早すぎることも、内定取り消しにつながっている」と指摘されました。

お話を聞き、学生のみなさんとも力をあわせて、不法な内定取り消しを許さず、雇用のルールのなかに採用のルールをしっかり位置づけさせる取り組みを強めなければと思います。



東京土建新宿支部の「新春旗びらき」。新宿区議団のみなさんと一緒にあいさつ（1月23日）